

三菱
零式艦上戦闘機 22甲型

童友社 1/100スケール零戦22型小改造
製作・文：政府開発援助

1. 零戦22甲型について

海軍零式艦上戦闘機22型は、速度向上と引き換えに航続距離が短くなった零戦32型を改修した機体である。発動機は栄21型のみであるが、外翼内燃料タンクを増設することで程度の長時間飛行を可能とした。また、主翼端を零戦21型同様の折り畳み機構に戻し垂直尾翼に方向舵修正タブを追加する等した結果、運動性も32型より向上した。翼内機銃を九九式二号20mm機銃に変更した機体は22甲型と呼称される。20mm機銃銃身が主翼前縁から突出しているため22型と容易に識別できる。

2. キットについて

童友社「翼コレクションEX」の第5弾、進藤三郎少佐搭乗機を再現したもので、プロペラ回転用の小型振動モーターが同梱されています。ディスプレイ台はシリーズ共通の形状ながら内部に単3乾電池を取り付ける構造が追加されており、地面を再現する為のシールが貼付できるようになっています。また、「翼コレクション」第3弾等に付属していた、パイロット・整備員・ドラム缶等の情景再現ランナーDが付属します。

3. 製作と塗装について

今回はプロペラアクション機構は組み込まずに製作しています。着艦フックとピトー管を作り直した以外は形状に手を加えず、翼端折り畳み状態及びフラップ下げ状態の再現に注力しました。翼端はキットパーツを丁寧に切り離し、直角に曲げた金属線を接着して主翼側の孔に差し込むようになっています。切り離した翼端を作業中に紛失した為同社21型の翼端を型取り複製しましたが、幸いなことに失くした部品が見付かったので元部品を使用しています。フラップは主翼上面裏側を削り取り、図面を製作寸法に縮小して0.5mm透明プラ板に桁の位置を写し取りエバーグリーンの極薄プラ材を接着後不要部分を削り落としたものを取り付けました。なお、甲型の特徴である20mm機銃銃身を伸ばしランナーで追加しました。

機体上面の緑色は手を加えた部分のみクレオスの暗緑色（三菱系）でリタッチ、カウリングはカウリング色で、コクピット周りは機体内部色（三菱系）で全塗装しました。機体下面は（主脚収納庫を含めて）クレオスの灰緑色で塗り直し、プロペラはそのまま使用しています。タイヤは好みでつや消し黒としました。タミヤのスマ入れ塗料各色を適当に使い分けてスマ入れ後、缶スプレーのクリアー（半光沢）を吹いてツヤを整えています。

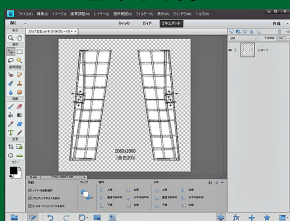


前方より

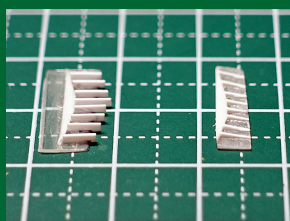


後方より

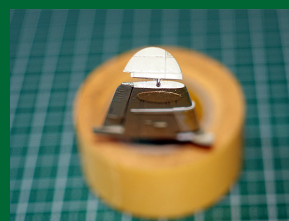
4. 途中画像



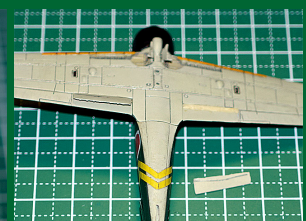
フラップの図面をスキヤンし、サイズを合わせて印刷。



プラ材を立てるように接着後、不要部分を切除し整形。



翼端は直角に曲げた金属線を介して主翼に取り付けている。



フラップの開き加減はエポキシパテを充填して現物合わせ。